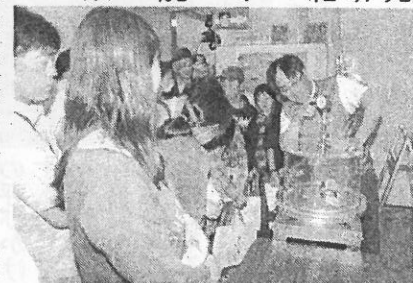


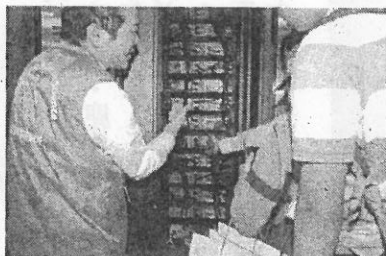
自然機構分子研が一般公開

自然科学研究
機構分子科学研
究所(川合眞紀
所長)は去る10
月20日、「分子
の謎解き大迷宮
君は分子研を脱
出できるか?」
をテーマに一般
公開を行った。



研究の説明を受ける来場者

この取組は、
研究所の研究施設や実験室を公開し、最新の
研究成果を市民らにも分かりやすく紹介する
もの。さらに、研究者との対話の場を広く提
供することで、研究所を身近に感じてもらっ
ための工夫を凝らした多数の企画を用意し、
約4000人が訪れた。



スパコンの説明を
受ける来場者



装置開発室で
テルミンを演
奏する来場者

一般公開はメイ
ン会場と講演会場の2
カ所で実施。メイン会
場で、計算科学研究セ
ンターでは理論計算
の部屋やスパコンの
施設公開、シンクロト
ロン光を使う極端紫
外光研究施設(UVS
OR)では加速器と分
子科学のコラボレー
ションを用意した。
また、装置開発室で
はプリント基板のネ
ームプレート作りや
低温の世界、実験棟で
は3Dプリンターで
作る分子模型の世界、
物質・エネルギーの部
屋、生命の部屋、光の
部屋など10テーマを
設け、全体で八つのエ
リアで多彩な展示や
実験が行われ、研究者

が来場者に直接語りかけるスタイルで研究や
実験内容をわかりやすく説明した。概ね小学
校4年生以上による分子研王選手権 分子研
タッチラリーも行われた。

講演会場では近畿大の家戸敬太郎教授によ
る講演『海を耕す! 近大マクロの完全養殖と
最新の育種研究ゲノム編集』が行われ、多
くの来場者が興味深い内容に熱心に耳を傾け
ていた。

また、当日はコラボ企画として岡崎高校の
SSH部による研究紹介とワークショップも
実施。岡崎市のご当地キャラであるオカザえ
もんも応援にかけつけ、一般公開を大いに盛
り上げていた。

天文台職員テニス部が優勝 西東京地区国立大学 職員硬式テニス大会で



国立
天文台
テニス
部は、
このほ
ど開催
された
「平成
30年度
西東京
地区国
立大学
法人等
職員硬
式テニ
ス秋大
会」で
優勝、
2連覇
を果た
した。

一橋大国立東キャンパスで実施された同大
会には、東京学芸大、東京農工大、電気通信
大、国立天文台、一橋大の5団体総当たり戦
で行われ、いずれも熱戦が繰り広げられた。

家名誉教授をはじめとするテニス
部メンバー、優勝を喜び記念撮影
した。